学校番号	３０４

令和３年度　芸術科美術

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	美術Ⅲ「高校美術３」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

平面デザイン　油彩画を制作し独創的な表現を目指し、高校展、ブロック展、芸術文化際出品する自己の内面表現、個性ある作品作りを考えさせ、創造力、集中力、洞察力をたかめる。

２　学習の到達目標

創作活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術や芸術文化に関心を持ち、個性有る創造力の向上、創作に対する意欲、制作に取り組み熱意を持って作品を完成させる	自己を追求し、個性ある作品作りをめざし、 常に自己との対話を欠かさず完成させる。 用意したスケッチや資料は充分であったか	創意工夫を生かした作品つくりを念頭に置き用具、画材を活用し色調、技法は適切であったか	今ある知識をもとに制作していく中で自分に合った表現方法、知識をクリエイトしていく
評価方法	観察 提出作品	観察 提出作品	観察 提出作品	観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	美術履修	オリエンテーション	○				a:美術の多様な表現に関心を持ち美術の働きや文化について理解する	なし
	絵画制作	下絵作り 油彩 100 号制作		○ ○	○		b:イメージした情景や形態を的確に表すことができたか。 c:自己表現を繰り返すことで発想が深まり、それに応じた創造的な制作ができたか	観察 課題作品
二学期	平面デザイン	B1サイズに制作 自由作品		○ ○	 ○		b:自己の表現意図に応じて創造性、構成が効果的に表現できたか c:作品の意図を明確にするための工夫がされ計画的に取り組めたか	観察 課題作品
三学期	絵画制作	絵画制作	○		○		a:オリジナル技法、用具の扱いを理解できているか c:画材の使用方法を理解し全活動を通じて意欲的、積極的に取り組めたか	観察 課題作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。